

- 2、土地取得資金の活用をはかる。
- (4) 精英樹苗による育種対策
- 1、林業研究指導所の苗畑拡充
- 2、電熱温床による挿木苗の育成
- (5) 造林意欲昂揚策
- 1、協業造林の推進（入会林野の活用など）
- 2、普及活動による採算性のPR

二、木材界強化対策

- 木材産業は中小企業の零細性に加え、昨今の外材輸入増による内地材の販路圧迫等のため経営不振の業体が相次いでいる状況である。
- このため資金面の調達緩和及び資材の共同購入、或は製品の共同出荷態勢整備等のため次の施策を講ずる。
- (1) 木材業県連合会の設立推進
- (2) 林業信用基金をて、こととする資金の活用

三、森林害虫対策

- 森林害虫の中でも、特にここ数年、松くい虫のまん延が著しく、年々これが防除に努力しているが、昨年より大規模実施に踏みきった砒弗化亜鉛剤（オスモシール）の活用を主軸に効果の著しい次の諸施策を実施にうつす計画である。
- (1) 砒弗化亜鉛剤（オスモシール）の拡大活用
- (2) 駆除器材の県費購入貸与
- (3) 単木保存を要する松樹に対する立木予防事業

四、短期の所得増大に必要な施策

- 林業生産の特殊性から木材生産林業は長期を要するため零細規模経営者の多い本県の場合、これらの生産を支えるための短期に所得増大に寄与する諸施策をきめ細かに実施することが必要と思われるので次の施策を重点的に実施する。
- (1) たけのこの促成栽培の推進
- (2) 竹林の施業改善
- (3) 雑木活用のきんたん類生産の推進
- (4) モリシマ、雑木の加工利用対策の推進
- (5) 林産物の貿易対策
- (6) 公共的投資事業の拡大

五、公共的投資事業の拡大

- (1) 治山事業は治山五ヶ年計画の第二年度として、過去の災害による復旧治山事業や予防治山事業及び特殊緊急治山事業に県南部の四〇年度災害が新たな指定を受けるなど、事業の著しい増大を見ている。総事業費は四億を超えたがこれらの事業の円滑な実施を推進する。
- (2) 林道事業は、未開発森林資源を早急に開発すると共に低開発地域である山村経済の振興をはかるため、県東南部の未開発地域を重点として実施する。特に本年度からは従来の補助一号林道を県営に切りかえ、一〇〇%の地元負担軽減をはかった。

さらに新規事業として本年度より

- 農林道の実施をはかる。
- 六、県有林運営に必要な施策
- (1) 実験用団地を設置し、新技術の導入を率先実施する。
- (2) 省力経営の実践をはかる。



監理課

監理課は、本県土木行政の人事、予算その他の庶務を主たる事務とし、その外道路、河川等の事業主管課の所掌に属しない用地事務、土木災害事務、建設業者事務を担当するのであるが、人事予算等の部内管理事務は、経常的なものであるため、その他の事務について述べらる。

一、土木災害事務

本県では、毎年のように、災害に見あふれる。昭和四一年度予算ではこれら河川の保全管理及び改良工事は要する費用として約一億円を計上している。

坪井川以下四二川の改良工事に要する費用は約六億六、六〇〇万円であるが特に大都市周辺河川の改良整備に重点をおいて工事を進める方針である。海岸の整備補強に要する費用は約九、一〇〇万円、野崎海岸以下一二海岸を予定している。以上のほか、本年度は別途一億四、五〇〇万円の河川災害復旧費が計上されているので過去三年連続して災害を受けた球磨川水系川辺川、五木小川の復旧工事を一定計画にもとぎ改良を含めて急ぎ実施したい。これに要する概算工費は三億五、八〇〇万円であるが、四一年度実施の頭地、宮園地区の事業は別途、詳述したい。

港湾課

昭和四一年度港湾課県工事公共補助事業費は港湾事業が一五港で五億八九七万円、海岸事業では一〇港の一億四、九二〇万円であるが（このうち、離島関係分は港湾、海岸両事業を合わせて一億五、三三八万円）、このうち主要なもの八代港改修事業である。

新産都市八代地域開発の鍵となる八代港の整備は、港湾整備五ヶ年計画により着々進展しており、昭和四一年四月の貿易港指定に伴い、その緊急性は益々増大するものと思われるが、昭和四一年度には

道路課

建設省が実施する県内の直轄事業は工事費一〇億七、三〇〇万円が概ね次のとおり施行される。

(1) 国道3号線

全線にわたり一応改良を終り、舗装

さらには昨年度買収した農林干拓八代外港地区の臨海工業地帯二五五平方メートルの造成工事を昭和四〇年度に引き続き施行し、近代化された大型港湾の建設と大規模な産業基盤用地の造成を目指している。

ちなみに昭和二三年起工以来昭和四〇年までの投資額は一六億一、七〇〇万円、さらに昭和四一年までに四五億五〇〇〇万円（ほかに起債四億七、二〇〇万円）の工事を計画し総額五〇億二、二〇〇万円をもって、一五五、〇〇〇平方メートル、一五五、〇〇〇平方メートル、二〇〇、〇〇〇平方メートル、二〇〇、〇〇〇平方メートルの完成し、起債事業として外港工業用地一九七七八、〇〇〇平方メートル、頭用地二〇四四、〇〇〇平方メートルの造成・荷役機械及び上屋の設置・内港頭用地五万二、〇〇〇平方メートルの完工を期している。

計画課

本県では、県及び一〇一市町村のうち熊本市を初め二〇市町が都市計画法に基づいて都市計画事業を推進しているが、

も完了したが、引続き次のとおり施工される。

新熊本バイパス……熊本市京町附近の交通を緩和するため北部村四方寄から熊本市浄行寺に至るバイパス工事であるが、本年度全線開通する。

植木バイパス……多年地元関係者とともに早期着工を要望していたが、本年度より、本格的調査を行い、一部用地買収に着手される見込みである。

(2) 国道57号線

坊中、立野両バイパスの用地補償問題が昨年解決したため工事は順調に進んでいる。

坊中バイパス……本年度九月頃完全舗装された道路が開通する予定である。

立野バイパス……本年度中に改良工事が完了する予定である。

大津バイパス……本格的な調査が行われる。

坂梨バイパス……宮地駅から県境に向い改築工事に着工されるが本年度は改良済区間の舗装と坂梨バイパスの用地買収に着手される。

次に、県施行分としては、本年度の公共事業関係内示額は三二億八、一〇〇万円となっており、四〇年度予算二六億二、〇〇〇万円に比べ一五〇%と大幅な伸びを示している。これに単独県費事業、市町村土木費補助事業等を加えると道路関係当初予算は四五億円の巨額である。

河川課

本県の河川は、一級水系五、これに属する支派川一〇一、二級水系七〇、これに属する支派川五九、計二三五河川でその総延長は約一、七五〇キロに及ぶ。また県営管理にかかる建設省所管の海岸保全区域は七三ヶ所その延長は約八八キロで

- (1) 国道熊本宮崎線……一勝地ノ渡間の開通及び人吉ノ多良木間の舗装を完了する。
- (2) 国道牛深宇土線……天草架橋完成に伴う関連道路の整備、特に三角町ノ松島町合津の改良舗装を完了する。
- (3) 国道熊本佐賀線……八嘉台地バイパスの完成
- (4) 城北開発横断道路……事業費が倍増し、相当の進捗が期待される。
- (5) 舗装道の大規模延長……地域住民の要望にこたえ、事業費を四〇年度の一七六%、一億八、六〇〇万円で国道道合計一三六キロの舗装を行なう。四一年度末における県内道路の舗装道延長は国道三四三キロ、県道三七〇キロ、合計七一三キロとなり、舗装率は国道五〇・九%、県道一一・八%、平均一八・七%になる見込である。
- (6) 交通安全施設整備……激増する交通事故対策として交通安全施設を大幅に設置する。